

経営比較分析表（平成28年度決算）

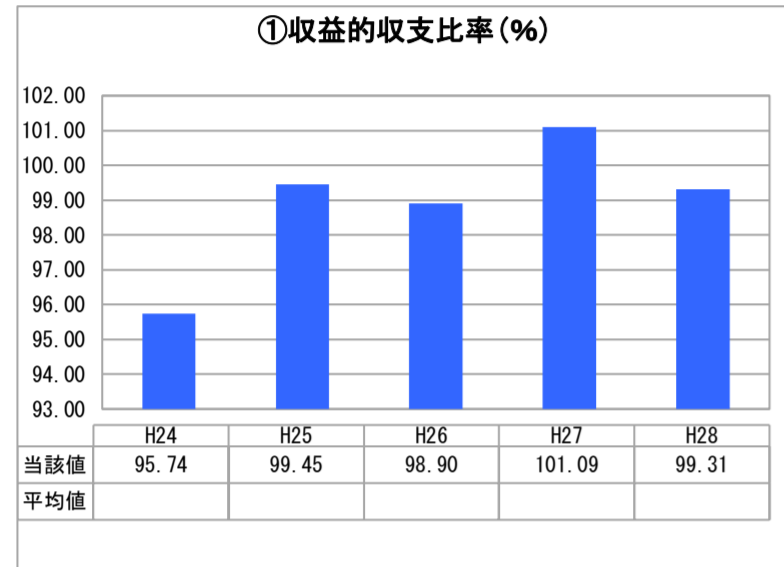
宮城県 大衡村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	23.31	100.00	3,500

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,877	60.32	97.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,363	52.74	25.84

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



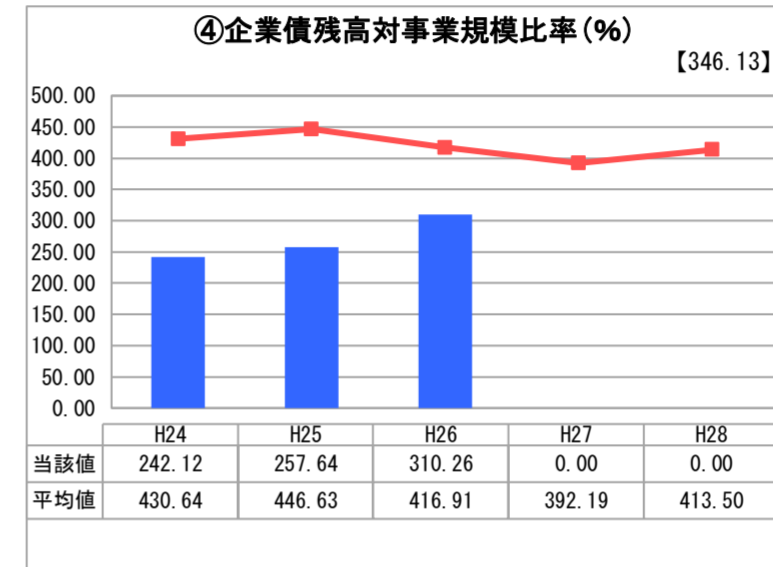
「単年度の収支」



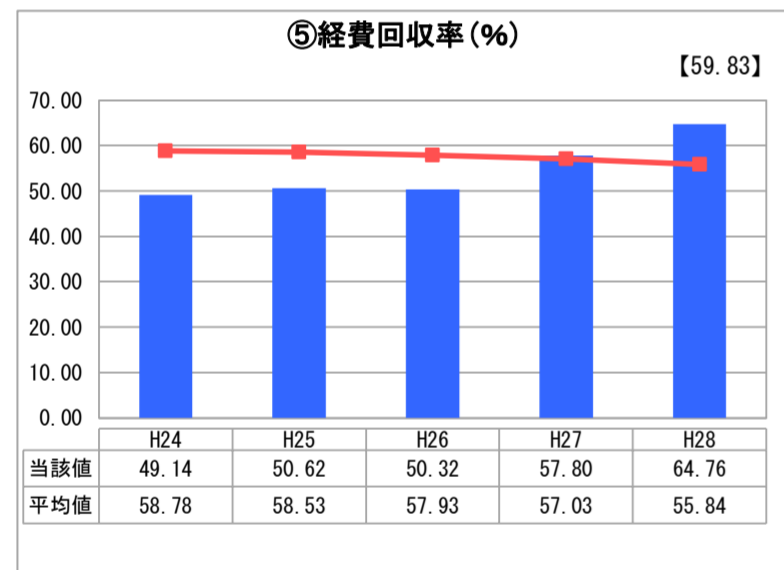
「累積欠損」



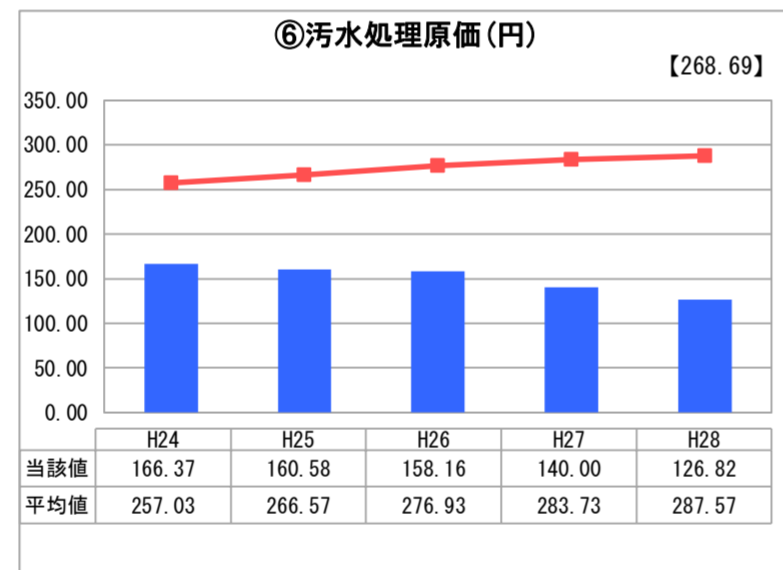
「支払能力」



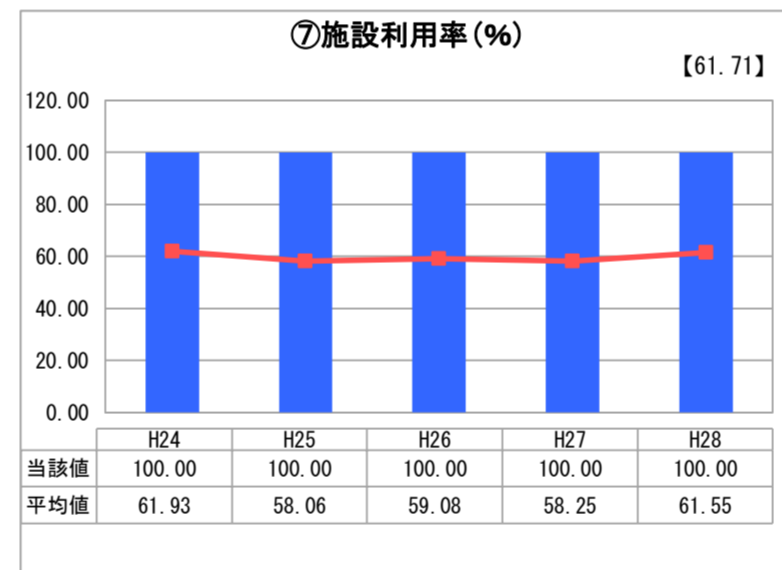
「債務残高」



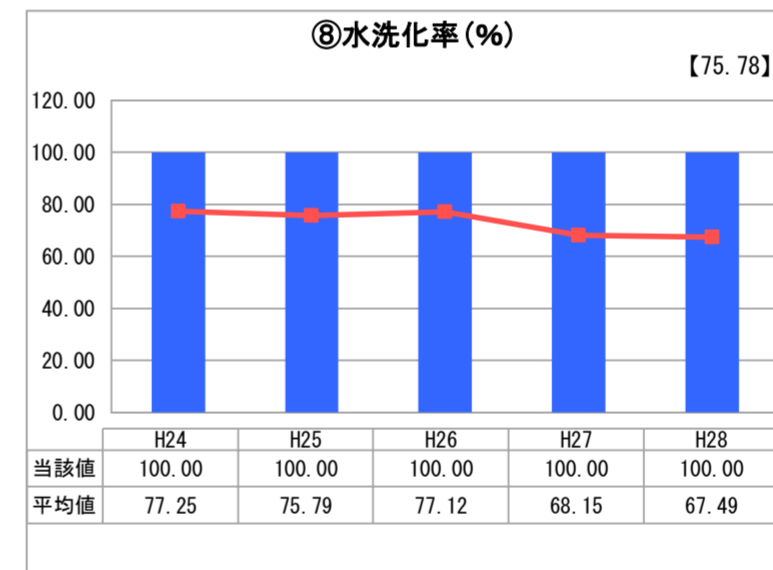
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

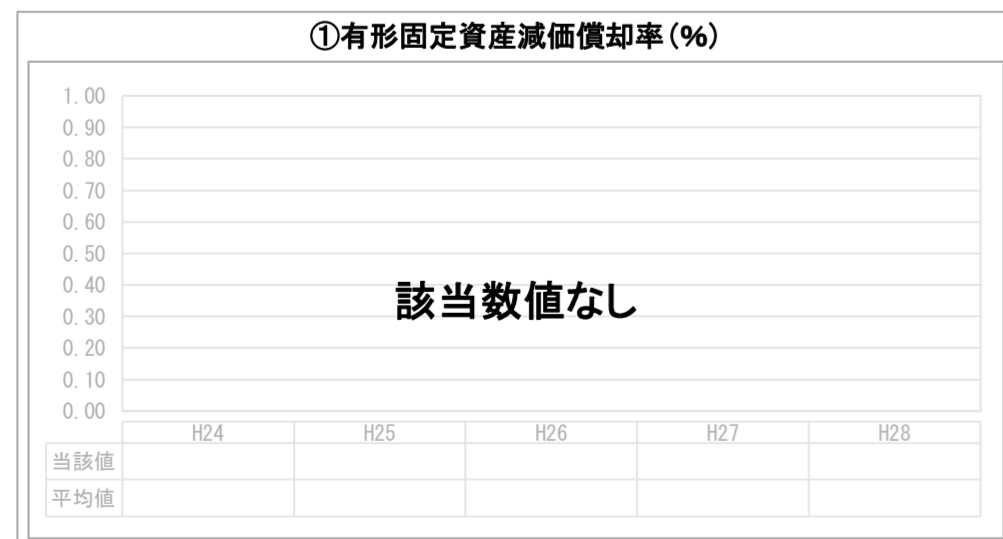


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

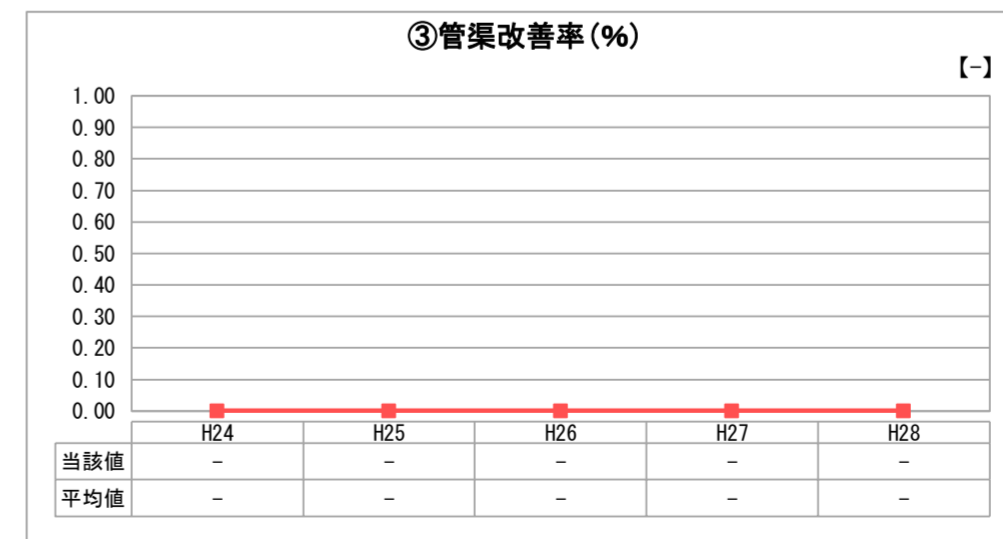
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

今年度は収益的収支比率が100%を超えず、単年度の収支は赤字となった。それに伴い経費回収率も昨年より7%弱上がったが、一般会計からの繰入金（使用料以外の収入）に依存している状況にある。維持管理の効率化、軽微な修繕業務等については職員自らが行う等、経費の削減に努め経営改善を図る。

今年度企業債残高対事業規模比率が0となっているのは、償還に要する資金を一般会計等において負担しているためである。

汚水処理原価については、類似団体等平均値と比較すると安価な数値となっているが、将来に備え経営の見通しをたてて健全な経営に努める。

施設利用率・水洗化率については市町村設置型のため100%となっている。

2. 老朽化の状況について

大衡村の浄化槽事業は、平成28年度末現在で352基の管理を行っており、最も古い浄化槽は設置から21年が経過している状況で、今後も定期点検など適切な管理を実施することで、施設の長寿命化を図る。

全体総括

社会情勢の変化に的確に対応した事務事業の見直しや経常経費の縮減などによる経営改革を進め、経営基盤の強化などを積極的に取り組み、より一層の経営健全化を推進する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。